

平成 25 年 9 月 4 日

各 位

西日本シティ銀行

中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」
“地域との共栄 地場産業育成”

～ 経営改善・事業再生に取り組む中小企業を積極的に支援 ～
「九州 BOLERO 2 号ファンド」の設立および出資について

株式会社 西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」に掲げる“地域との共栄 地場産業育成”の一環として、株式会社ドーガン・アドバイザーズ（本社：福岡市 代表取締役 森 大介）の 100%子会社である、株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡市 代表取締役 森 大介 以下、「DI」）が本日、平成 25 年 9 月 4 日に設立した「九州 BOLERO 2 号ファンド投資事業有限責任組合」（愛称：「BOLERO 2 号ファンド」）への出資を決定しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、平成 20 年 6 月に組成した「九州 BOLERO 投資事業有限責任組合」の後継ファンドで、経営改善・事業再生に取り組む中小企業を支援するために設立され、当行のほか、九州の地元銀行 3 行（株式会社鹿児島銀行、株式会社十八銀行、株式会社肥後銀行）と独立行政法人 中小企業基盤整備機構（以下、「中小機構」）を有限責任組合員とし、DI が無限責任組合員となってファンドの運営・管理を行う再生ファンドで、ファンド総額は 33 億円となります。

当行は、本ファンドへの出資を通じ、地場企業の経営改善・事業再生及び組織再編を積極的に支援し、地場産業の育成・発展に努めてまいります。

「九州 BOLERO 2 号ファンド」の特徴

- 「地域の経済活力や雇用に資する内容であるか」の視点に立ち、経営改善・事業再生に取り組む中小企業の支援により九州経済を活性化させることを主な目的とする**地域特化型ファンド**
- 投資先企業の事業構造の再構築・過剰債務の整理を行うため、事業スポンサーの斡旋・ターンアラウンドマネージャーの投入・ドーガンが持つハンズオン支援のノウハウ等を最大限活用したガバナンス体制の確立等を通じて**経営課題の抜本的解決**を図るもの
- 西日本シティ銀行のほか、独立行政法人中小企業基盤整備機構、鹿児島銀行、十八銀行、肥後銀行が有限責任組合員（資金スポンサー）として参画する、**九州地区の地域金融機関による共同出資事業**

本件に関するお問い合わせ先
審査部 審査業務室 穂東（ほつか）・矢治（やじ） TEL092-476-2772

【ファンド概要】

ファンド総額	33億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組合員	ドーガン・インベストメンツ http://www.dogan.jp/
有限責任組合員	西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp/ 鹿児島銀行 http://www.kagin.co.jp/ 十八銀行 http://www.18bank.co.jp/ 肥後銀行 http://www.higobank.co.jp/ 中小企業基盤整備機構 http://www.smri.go.jp/
投資対象	原則として、九州圏内（九州各県・山口県・沖縄県）に主な拠 点があり、経営不振に陥っている中小企業
主な投資形態	・ 株式（普通株・優先株） ・ 劣後ローン ・ 社債 など
組合の存続期間	7年（但し、3年を限度に延長可）

【ファンドスキーム】

